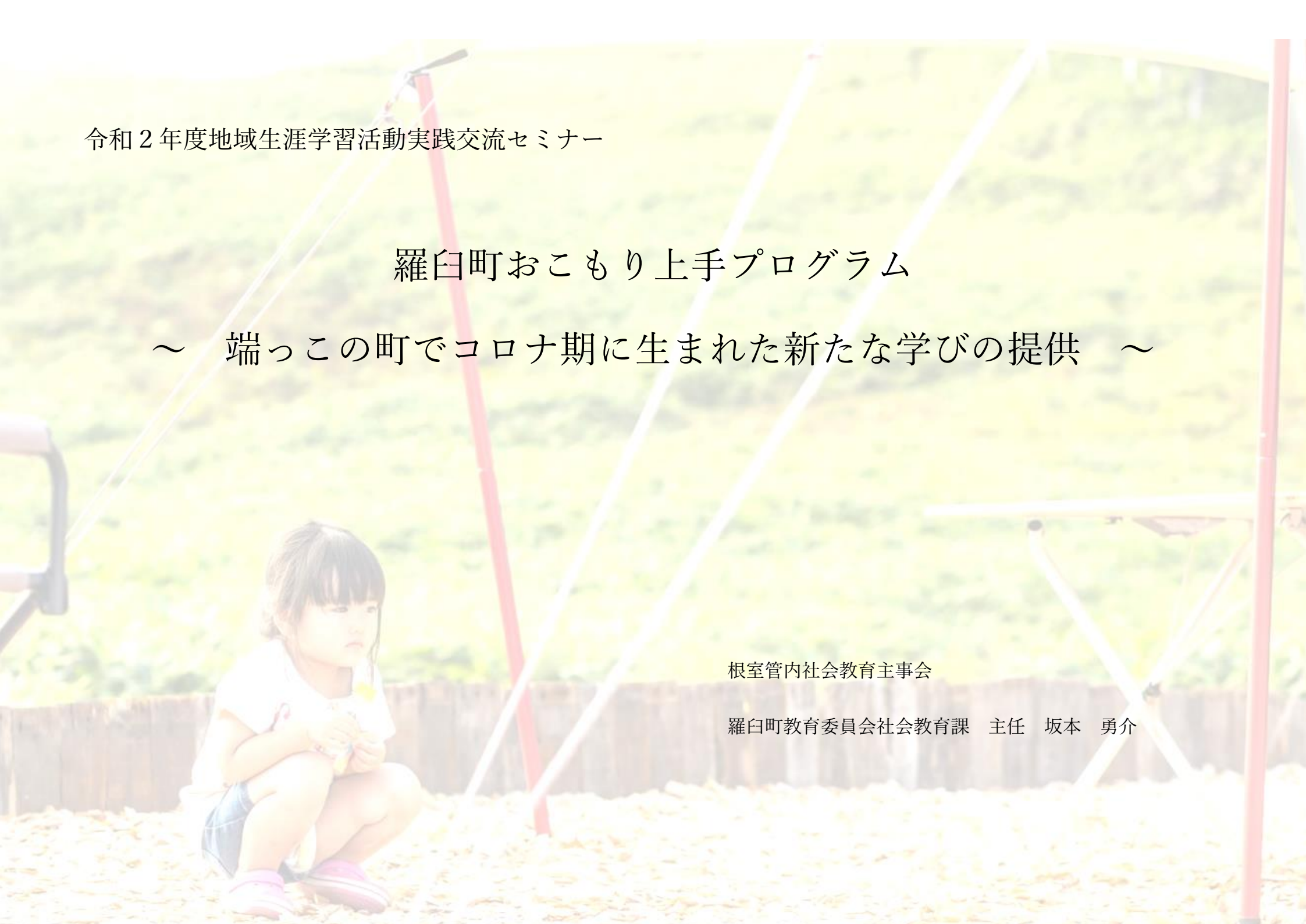




令和2年度地域生涯学習活動実践交流セミナー

羅臼町おこもり上手プログラム

～ 端っこの町でコロナ期に生まれた新たな学びの提供 ～

根室管内社会教育主事会

羅臼町教育委員会社会教育課 主任 坂本 勇介

1 はじめに ～ 世界自然遺産知床羅臼町 ～

私たちが暮らす知床羅臼町は、世界自然遺産知床に代表される有数な自然に囲まれた町です。

先人たちは、古くから知床半島で漁業を営みこの町の礎を築き繁栄させるとともに、北海道の漁業を支えてきました。その伝統的な漁法や製造工程は世代を越え、地域を越え、これからを担う世代へひとつ、ひとつ受け継がれています。

また、ヒグマやシャチ、オオワシなどの野生動物も多彩な環境を住み家に知床半島で営みを続けています。人と野生動物の営みの共存、産業の振興と自然や資源の保護の両立、このバランスこそが私たちの暮らす知床羅臼町の魅力でもあり課題です。

教育分野においても、SDG s 17 の目標を念頭に豊かな語学力やコミュニケーション能力、主体性や積極性、異文化理解の精神等を身につけ様々な分野で活躍できる人材の育成に取り組んでおります。

この度は、令和2年度地域生涯学習活動実践交流セミナーの開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大状況下において、羅臼町教育委員会社会教育課が取り組んだ with コロナ型の新たな学びの提供の実践についてご紹介いたします。

2 羅臼町の社会教育を取り巻く現状 ～ 拠点が無い+新型コロナウイルス＝誰も経験したことのない難局 ～

平成30年度の耐震診断調査により、「地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い」との結果が出され、平成31年3月より公民館及び町民体育館の利用を停止し、長寿命化を図ることは難しいと判断した公民館は解体、体育館は耐震化及び一部機能のリニューアル化を図り令和3年度にリニューアルオープン予定であり、現在も休館中であります。更には、公民館に付設していた図書室についても令和2年8月1日より図書館として新たなスタートを切りましたが、施設自体は役場内に臨時的に設けている状況であり、社会教育活動のすべての拠点を失ったと言っても過言ではない程の危機的状況であります。

社会教育的な学びを展開するうえで核となる施設である公民館・体育館・図書館の安定的な拠点確保ができぬまま更なる難局となったのが新型コロナウイルスの感染拡大です。

拠点もない、新型コロナウイルスで活動ができない、誰も経験したことのない大きな難局を迎える中ではありますが、羅臼町教育委員会社会教育課は、自らが下を向くことなく前を見続け、このような状況下においても献身的な学びの場を提供しています。

3 羅臼町の社会教育推進体制 ～ 社会教育主事はいないけど・・・最強の布陣が揃う社会教育指導班

羅臼町教育委員会社会教育課は、課長、課長補佐、係職3名の5名体制であり、図書司書2名、郷土資料館学芸員を加えた8名で社会教育指導班を構成しています。

羅臼町政の柱である産業振興を引っ張ってきた職員、町の財産管理や契約業務に長けている職員、羅臼食材の食文化や世界への誇りを伝えながら食育に取り組む管理栄養士、羅臼町の図書の歴史を1から創り上げてきた図書司書、知床半島に残る特異な歴史と文化を伝える学芸員、社会教育主事はいませんが、大きな強みを持ちこの間の町政運営の重役を担ってきたメンバーが集まっています。加えて、それぞれが特殊能力のように引き出しあうチームビルディング能力を最大の武器に社会教育分野に限らず様々な町政課題の解決に最前線で立ち向かっているのが羅臼町教育委員会社会教育課及び社会教育指導班です。



《羅臼町教育委員会社会教育課及び社会教育指導班の主な業務》

令和2年度においても、社会教育の枠を超えて、「産業振興」と「人材育成」の両輪の活性化を日本のアウトドアトップブランドである(株)スノーピークと共に目指す「知床羅臼 NOASOBI・MANABI プロジェクト」や羅臼町役場が今後の難局を乗り越えていくための職員育成、庁舎内改革を推進するための「羅臼町職員研修」の全体コーディネートを担当するなど、町の重要施策を横断的且つ複合的な視点で課題解決するべく業務に励んでいます。



知床羅臼 NOASOBI・MANABI プロジェクト

「野遊び」をキーワードに教育的体験プログラムや教育移住者獲得に向けたワーケーション事業などに取り組む。



庁舎内改革に向けた羅臼町職員研修

羅臼町の存続に向け難局を乗り越えていくための庁舎内改革に向けた職員研修の全体コーディネートを担当している。

4 逆境を跳ね返し最先端の学びの提供を目指す ～ 8名の力を結集した「羅臼町おこもり上手プログラム」 ～

「公民館もない・・・」

「町民体育館も使えない・・・」

「図書館も満足な施設ではない・・・」

+

=

「コロナで休園、休校・・・」

「コロナで団体活動の自粛・・・」

「コロナでステイホーム・・・」

誰も経験していない逆境を乗り越えるために必要なこと・・・

辿り着いた答えは「**跳ね返すしかない**」ということ。

コロナは脅威でもあり契機でもあるのではないか。

産業振興を担ってきた職員が中心となって SWOT 分析。

この状況は、「**ピンチをチャンス**」に変える契機であることだという 8 名全員の気づき。

すべての逆境を跳ね返し「コロナ期」をどう乗り越えるか、子どもや保護者をどう守り、互いに学び合う環境を提供し続けるかという 8 名の思いをカタチにしたのが

「**羅臼町おこもり上手プログラム**」です。

ACTION 1

自分達の強みを再認識しよう

指導班が最初に取り組んだのが、自分達の強み、8名の個々の強みを再認識することです。

8名それぞれにオンリーワンの強みがあるということ、その強みを活かし合い、弱みを補い合い、日頃から取り組んできたチームビルディングを最大の武器としてスピード感を強く意識し、チーム力を活かした取り組みを展開するというビジョンを共有しました。

自然と湧き出た合言葉「**コロナ期において最先端を目指そう。道内のどこの自治体よりもいち早く！！**」

この思いの統一と共有が、企画立案から実践までわずか2日間での動きとなりました。

羅臼町の教育はコロナでどんな影響を受けているのか

すべての町民や社会教育指導班、羅臼町に住む誰もが経験したことのない状況の中で、新型コロナウイルスは羅臼町の教育にどのような影響をもたらしているか、子ども達や保護者にどのような影響をもたらしているかについて意見を出し合いました。

○子ども達は幼稚園や学校で当たり前できていた遊びやコミュニケーションが突如失われた状況

○保護者は経営や雇用に対する不安を抱え、更には休園・休校中の子どもの預かり先確保などに苦慮している状況

◇一方で、子どもと保護者が一緒に過ごす時間がこれまでより増えるのではという意見

◇これまでになかった教育ツールの普及にチャレンジできるチャンスではという意見

⇒それぞれがストレスフルな生活を迫られている一方で、家庭教育の充実をこれまで以上に図る機会となると考え、複合的な課題解決に向けた企画立案に取り組むこととしました。

ACTION 3

1日も早く『今、できる。』をカタチに・・・

社会教育指導班のメンバーが自ら感じた、新型コロナウイルス感染拡大状況下における『今、できる。』を見つけ企画立案に繋げる必要性。個の強みを活かしたアイデアを出し、アイデアをパッケージ化、戦略的な情報発信や地域連携に取り組む、今そこに集う人、そこにあるモノを結び合わせ『今、できる。』を1日も早く実現したのが「羅臼町おこもり上手プログラム」です。

「君たちの心と体を守りたい」

というコンセプトの元に、新型コロナウイルス感染拡大状況下において、羅臼町で暮らす子ども達も保護者もそれぞれがストレスや悩みを抱え過ごす中、互いを守り、互いが学びあう取り組みの創出を目指しました。

羅臼町で実践する
楽しく 子育て 親育ち 12のポイント



- ら ライン（SNS）やゲームは時間を決めてほどほどに
- う 運動で体力つけて肥満予防
- す 好きなものだけ食べないでバランス栄養健康な体づくり
- の 「ノー」も大切家庭のしつけ
- お おやつを食べたら歯磨きへ GO！
- や 優しい心や思いやり読み聞かせ読書や会話で育てよう
- そ その子らしさを認めてほめて励まそう
- だ たくましく生きる力は体験活動から
- ち 小さな役割お手伝い自立の準備を少しずつ
- お おはようおやすみありがとう心を伝える会話のやりとり
- う うちの子もよその子も共に成長を見守ろう
- えん 縁あって結ばれた家族住む地域豊かな子育てをみんなで応援しよう！

羅臼町おこもり上手プログラム実施内容

羅臼町おこもり上手プログラムにおける

【重点事項】

- ら ライン（SNS）やゲームは時間を決めてほどほどに
- う 運動で体力つけて肥満予防
- す 好きなものだけ食べないでバランス栄養健康な体づくり

① 図書無料宅配サービス

0歳から18歳の子どもがいる家庭を対象に上限20冊で1ヵ月間の貸し出しをおこなうサービス。子どもの不安を解消するメッセージの同封や読書登山を実施し、読書機会の提供を図った。

② 親子でコミュニケーション

家庭で過ごす時間が長くなることから生活リズムが乱れることが予想され、親子でコミュニケーションを取り休園・休校期間を楽しく過ごせるようクッキングプログラムなどを提供した。

③ お家でできる「簡単運動」

家庭内で過ごす時間が増えることによる運動不足や不安、ストレスの解消を図り、家庭でできる簡単な運動プログラムの提供を図る。

④ ALT 英会話の YouTube 配信

ALT の活用を図りながら英語学習機会を提供するもの。羅臼町公式 YouTube を活用しグレード別配信を実施した。

羅臼町教育委員会「おこもり上手プログラム」

君たちの心と体を守りたい

ライン(SNS)やゲームは 時間を決めて ほどほどに

運動で 体力つけて 肥満予防

好きなものだけ食べないで バランス栄養 健康な体づくり

親子でコミュニケーション

お家にいる時間に今までできなかったお手伝いにチャレンジしてみよう!

1 掃除のお手伝い

2 食事のお手伝い

3 お菓子作り☆

フックパッド「知床羅臼町キッチン」で、親子でできる簡単ヘルシーなおやつの作り方を紹介しています

QRコード

cookpad

知床羅臼町キッチン

お家でできる「簡単運動」

体を動かさず

お出かけられなくても、お家でたくさん体を動かしてストレス発散しよう!

リズムジャンプ

ミラー体操

階段を使って踏み台昇降、除雪や毎朝のラジオ体操も◎

図書宅配サービス

図書室はお休みしますが、お家で本を読めるように無料宅配サービスを行います。

申込み受付(3月10日まで)

0~18歳のお子さんがいる家庭

20冊まで

1ヶ月間貸し出し

電話・FAXで申込み

返却

図書館再開後、かもめ号または図書館へ持参してください

感染症対策

図書館は基本個包装です。包装する前にアルコール消毒をします。返却された本は10日以上保管したのちアルコール消毒をしてから利用します。

サム先生とEnglishレッスン

ALTサム先生がYouTubeに登場! 英語で小~高校生のグレード別にクイズを配信するよ 正解できるかな?

Sam channel サムチャンネル

QRコード

～どんな悩みも私たちにご相談ください～

お問合せ先 羅臼町教育委員会社会教育課 0153-87-2004

5 「羅臼町おこもり上手プログラム」の実施からの気づき

「こんな時だからこそ、今、できる。」を見つけ、「こんな時だからこそ、いつもよりスピード感」をもって、なによりも「こんな時だからこそ、社会教育が町民の先頭に立って共に前を向く」、新型コロナウイルス感染拡大状況下の中で、自分達の役割や強みを再認識し、現状を把握する、そして自分達自身が日頃のチームビルディングに取り組んでいるからこそできる抜群のレスポンスで、社会教育指導班の思いをひとつに企画立案に取り組みました。

町内の保護者は自主的に「羅臼町おこもり上手プログラム」を SNS 等で発信し合い積極的に各家庭で学びの実践をしていただきました。

羅臼町議会をはじめ、町内の団体や企業からは、新型コロナウイルス感染拡大状況下においても献身的な教育機会の提供に取り組んだことに賞賛をいただきました。また、思いを込めた企画に賛同いただいた町の印刷会社は無償でチラシのデザインを作成してくれるなど、本プログラムの実施にあたり様々なご支援をいただきました。

教育を提供する私たち自身が組織的に現状を理解し、課題を出し合い、方策を練る。そして、心から思いを伝えることで教育は動きだし、繋がるものだと確信する取り組みとなりました。

この事業をきっかけに英会話教室に通い始めた子ども達、この事業をきっかけに調理する楽しさに触れ合い毎日の生活の中に当たり前のお手伝いが生まれたこと、この事業をきっかけに更に町民と近い距離感で教育を考えるきっかけとなったことは、私たち羅臼町教育委員会社会教育指導班にとって大きな財産です。

冒頭に述べておりますとおり、私たち羅臼町の社会教育を取り巻く環境は決して恵まれているものではありません。

公民館もなく、体育館は耐震改修中であり思うような活動は展開できません。また、新たに動き出した図書館も役場内での開館であり理想の状況からはかけ離れています。

それでもピンチをチャンスに変え、前を向き続けた教育機会の提供に取り組まなければなりません。

この度の「羅臼町おこもり上手プログラム」は、コロナがあったから生まれた取り組みではなく、日頃からのチームビルディングを意識した毎日の積み上げがあったからこそその取り組みだと感じております。

これからも、今いる人、そこに集う人、ここにあるモノを活かし、知床羅臼町だからこそできる社会教育の提供に一丸となり取り組んで参ります。